

## 水稲新品種「トヨコガネ」について

<sup>1)</sup>西山 壽・八木忠之・日高秀光・<sup>2)</sup>吉田浩一・<sup>3)</sup>新村善弘

轟 篤・<sup>4)</sup>小八重雅弘・<sup>4)</sup>黒木雄幸・<sup>4)</sup>本部裕朗

(宮崎県総合農業試験場・<sup>1)</sup>九州農業試験場・<sup>2)</sup>宮崎県えびの農業改良普及所)  
<sup>3)</sup>元宮崎県総合農業試験場・<sup>4)</sup>宮崎県農政水産部

Hisashi NISHIYAMA, Tadashi YAGI, Hidemitsu HIDAKA, Kouichi YOSHIDA, Yoshihiro SHINMURA, Atsushi TODOROKI, Masahiro KOBAE, Yukou KUROGI, and Hiroaki HONBU : A New Rice Cultivar "Toyokogane"

水稲新品種「トヨコガネ」は、1987年から大分県において奨励品種に採用され普及に移された。ここに本品種の育成経過並びに特性概要を報告し普及の参考に供したい。本品種の育成に関し、種々ご高配をいただいた関係県農業試験研究機関各位に深く謝意を表する。

## 1. 来歴及び育成経過

本品種は1976年宮崎県総合農業試験場において、「コガネマサリ」を母、「あそみのり」を父として交配を行い、世代促進、個体選抜、系統選抜を経て、1982年F<sub>8</sub>より「南海87号」の系統名を付し、関係県に配布して地方適応性を検討してきたもので、1987年6月「水稲農林288号・トヨコガネ」と命名、登録された。

## 2. 特性の概要

1) 形態的特性 稈長は「ミネユタカ」「あそみのり」より高い中稈で、穂長は「あそみのり」より長く、「ミネユタカ」より短い。穂数は「ミネユタカ」並みで「あそみのり」より少ない中稈偏穂重型である。止葉は中稈程度に立ち、やや短芒がやや少程度にあり、稃先色は黄白で粒着密度は中、脱粒性は難である。玄米の粒形粒大は中で、品質は心白、腹白の発生が少なく、光沢大で「ミネユタカ」「あそみのり」より良い。搗精歩留は「ミネユタカ」並みの普通で、食味は「ミネユタカ」並みかやや良く、「コガネマサリ」並みの良食味である。

2) 生態的特性 出穂期は「ミネユタカ」より1~2日遅く、成熟期はほぼ「ミネユタカ」並みの中生の中に属する梗種である。耐倒伏性は「ミネユタカ」よりやや強い。収量性は「ミネユタカ」「あそみのり」にやや勝る多収である。いもち病抵抗性遺伝子型はPi-aと推定され、葉いもちの抵抗性は「ミネユタカ」「コガネマサリ」並みかやや弱い中である。穂いもちの抵抗性は「コガネマサリ」よりやや弱い中である。白葉枯病抵抗性は「ミネユタカ」より強く、「コガネマサリ」程度の中である。縞葉枯病には罹病性である。

## 3. 奨励品種採用理由

大分県では、「ミネユタカ」は耐倒伏性が強く多収であることから中生種の主力品種であるが、刈遅れによる茶米の発生が多く品質低下を招き、また縞葉枯病には強いが白葉枯病に弱いこともあって、作付面積が減少してきている。他の中生品種「あそみのり」は、白葉枯病に強いものの品質不良で作付面積が減少した。また早生種

の黄金晴は良質・強稈であるが、一部不適地に作付が拡大され、品質収量に問題が生じている。

「トヨコガネ」は、品質が「ミネユタカ・あそみのり」に勝り、収量性は「ミネユタカ」並みかやや多収で耐倒伏性が強く、白葉枯病抵抗性も「ミネユタカ」に勝り、食味も「ミネユタカ」並みかやや良いので、大分県の準平坦~中間地帯を中心に良質安定多収品種として2,000haの作付面積が見込まれる。

## 4. 栽培上の注意

1) 強稈であるが短稈でないため、過度の多肥栽培は過繁茂となり登熟を低下させるので避ける。

2) いもち病抵抗性は中位なので、適期防除に留意する。

3) 縞葉枯病には罹病性なので、適期防除に留意する。

第1表 トヨコガネの特性概要

形質		品種名		
		トヨコガネ	ミネユタカ	あそみのり
早 草	晩 性	中生の中	中生の早	中生の早
	型	偏穂重型	偏穂重型	中間型
出穂期(月・日)		8.25	8.24	8.24
成熟期(月・日)		10.5	10.3	10.3
稈 長	(cm)	81	74	76
	(cm)	20.8	21.4	20.0
穂 数		360	341	376
芒の多少、長短		やや少・やや短	無	稀、短
稃 先 色	脱 粒 性	黄 白	黄 白	黄白
	耐 倒 伏 性	難	難	難
耐 病 性	葉 い も ち	強	やや強	中
	穂 い も ち	中	中	やや強
	白 葉 枯 病	強	弱	やや強
	縞 葉 枯 病	罹病性	抵抗性	罹病性
イネわい化病		中	—	中
玄米重(kg/a)		49.5	46.8	46.5
同上標準比率(%)		106	100	99
玄米千粒重(g)		22.2	21.9	23.3
玄米品質		中上(3.7)	中上(4.3)	中中(5.0)
食 味		上下	中上	中上

注) 育成地における1980~'86年の標準栽培